



2024年2月26日

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社

蓄電所の O&M サービスを開始

～再エネの主力電源化に向け、蓄電所の安定稼働に貢献～

オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社（本社：東京都江東区、社長：佐藤 厚範、以下「OREM」）は、このたび、蓄電所の運営・維持管理業務（O&M）の受託サービスを開始しますのでお知らせします。

OREM は、2018 年の設立以降、オリックスグループが運営するメガソーラーをはじめ、日本全国で 186 カ所、計約 700MW^{※1} の太陽光発電所の O&M を受託しています。太陽光発電所では、AI などのデジタル技術を活用した予防保全型の O&M により、オリックスグループからの受託容量（約 400MW）に対し、開始後 1 年で PR 値^{※2} を 4% 以上改善するなど、発電量の最大化に貢献してきました。太陽光発電所の O&M で培ったノウハウと技術力、電気主任技術者 75 名^{※1} の人材力などを生かし、今後は全国の蓄電所向けに O&M サービスを展開します。

このたび、初の蓄電所向けサービスとして、関西電力とオリックスが 2024 年中の運転開始を目指す「紀の川蓄電所」^{※3} における建設中の保安監督業務および商業運転開始後の O&M を受託します。O&M では、蓄電所内の設備点検や修理のほか、除草を含めた場内管理や部品の在庫管理などを請け負い、高効率な運営を図ります。

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギーの主力電源化が推進される一方、太陽光発電などの自然エネルギーは日射量や風況といった天候により発電量が変動しやすく、発電量不足による需給ひっ迫や供給過多に伴う出力抑制などが日々発生しています。発電量の変動を抑制し、安定的な電力を供給するためには蓄電所の普及拡大が必要不可欠です。

OREM は、これまでの太陽光発電所に加え蓄電所の O&M 拡大を通じて、再生可能エネルギーの普及促進と、社会インフラである電力の安定供給に貢献し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 2024 年 2 月時点

※2 Performance Ratio（発電所の生産性を数値化する産業標準指数）最大出力値に対して得られた発電量の割合

※3 [2022 年 7 月 14 日付ニュースリリース：関西電力との共同事業、2024 年に運転開始 蓄電所事業に参入](#)

以上

＜本サービスに関するお問い合わせ先＞
オリックス・リニューアブルエナジー・マネジメント株式会社 TEL：03-6666-7501

＜報道関係者からのお問い合わせ先＞
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部 TEL：03-3435-3167